

# 山口県医師会報

平成31年(2019年)

1月号

— No.1901 —

新年特集号



炉辺談話

● 表紙に寄せて

表紙「床波の漁港」



10年程前に描いたものですが、あの辺りはまだ懐かしい風景が残っています。

裏表紙「スイス・レマン湖」



三日月の形をした湖で、対岸の向こうにアルプスの一端が望めます。光が反射した水面を描くのに苦労しました。

宇部市  
竹尾  
和典

# Contents

■表紙の写真に寄せて ..... 宇部市 竹尾和典 2

■年頭所感

山口県医師会長 河村康明 ..... 4

日本医師会長 横倉義武 ..... 5

炉  
辺  
談  
話

坂本竜馬と明治維新 ..... 徳山 篠原淳一 8

平成 30 年 7 月 7 日 水害発生 ..... 光市 河村康明 11

中華料理を初めて食べる ..... 岩国市 藤本典男 14

弥生という時代 ..... 山口大学 しまふくろう 16

第 24 回四万十川ウルトラマラソン出走記  
～やむなくリタイアし、千載一遇のチャンスを逃した～ ..... 宇部市 金沢 守 19

インフルエンザの季節 ..... 光市 広田 修 22

オモダカ ..... 徳山 中村和行 24

週末は野良仕事ー普段使いの野菜たちー ..... 山口市 緒方正彦 27

明治維新 150 年・戊辰 150 年  
ー会津若松市、白河市、二本松市との確かな交流進展ー ..... 萩市 山本貞壽 30

アフリカ（倭）の女王 ..... 下関市 塩見祐一 32

端（はしっこ、さきっぽ） その 14 ..... 徳山 若林信生 35

■ 2019 年のスギ・ヒノキ花粉飛散の予測 ..... 沖中芳彦 38

■ 今月の視点「オンライン診療について」 ..... 郷良秀典 41

■ フォトコンテスト審査会 ..... 今村孝子 44

■ 県民公開講座「食事と運動の健康習慣」 ..... 吉川功一 45

■ 平成 30 年度 山口県小児救急医療電話相談事業研修会 ..... 藤原元紀 48

■ 平成 30 年秋季山口県医師テニス大会 ..... 水町宗治 58

■ 平成 30 年度 郡市医師会介護保険担当理事・  
ケアマネ・訪問看護師との合同協議会 ..... 清水 暢 59

■ 飄々「よろしく願いいたします」 ..... 吉川功一 66

■ 日医 FAX ニュース ..... 69

■ お知らせ・ご案内 ..... 70

■ 編集後記 ..... 中村 洋 78

## 年頭所感

山口県医師会長 河村 康明



新年明けまして、おめでとうございます。  
平成の終わりの新年を迎えるにあたりまして、  
会員の皆様方へ一言ご挨拶を申し上げます。

少子高齢化の波がいち早く到来した山口県ですが、会員諸氏のご協力により、この波にのみ込まれずに済んでおります。しかしながら、いよいよ 2025 年にはすべての団塊世代が 75 歳以上へ到達することにより、山口県内の医師の高齢化がますます進み、しかも 45 歳以下の若手医師の極端な減少という、危機的状況が迫ってきております。

本年 10 月には消費税率が 10% に上がるものと考えられ、特に高額な医療機器を使用する病院におかれては将来設計を考慮に入れつつ、その影響を最小限に食い止める方策を、日本医師会と共に考えていかなければいけません。

また、5 年間の猶予期間があるとはいえ、医師の働き方改革については、医師の人生設計に及ぼす影響も大であります。算定手法や教育・診療・研究の区別が特に大学病院や教育病院では困難であり、今後、検討課題として表面に現れると考えます。その際は、医師としての意見が重要な factor となるに違いありません。

地域医療構想及び各医療圏での調整会議では、郡市医師会の会長諸氏が議長を務められていると存じますが、表面上の用意された討議だけでなく、医療側の長年の検討事項もふまえて、より現実的な、より率直な生の討論をしていただき、地

域医療の崩壊を防止くださるよう切にお願い致します。

昨年度から開始された地域包括ケアにおいては、多職種の連携が焦点に据えられてはおりますが、在宅医療や看取りの問題は、山口県においては独居や老人施設が多く、医師の存在無くしては成り立たないものであり、地道な方法ではあります。数十年前の医師の如く、こつこつと往診を成し遂げていく方法がこれらの問題を解決する一番の近道ではないかと考えています。さらに医師同士の連携など、新しい時代に合ったスキルがあれば、進めてほしいと思います。

山口県は、特定健診や各種の癌の検査率が全国でも最下位に近く、われわれの力で疾病予防に着手することは重要なことであり、また、地道なことではあります。会員諸氏のご協力をお願いするものであります。

県内の医師定住が進まない現状に鑑み、この 4～5 年は何とか現状の医師で乗り切ることが可能と考えますが、将来に過恨を残さないように、「オール山口」で医師数の増加に取り組むことが最重要であり、皆様方のご協力・ご支援を重ねてお願いして、新年のご挨拶といたします。

## 年頭所感

日本医師会長 横倉 義武



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は7月の西日本を中心とする記録的な豪雨や9月に近畿地方を中心として甚大な被害をもたらした超大型の台風21号、更にはその直後の北海道胆振地方で発生した地震など、さまざまな災害が相次ぎ、多くの方々が被災され避難生活を余儀なくされる事態が続きました。日本医師会では、JMATを派遣するとともに支援金等と呼び掛けましたが、全国の会員を始め、多くの皆様にご協力いただき、改めて厚く御礼申し上げたいと思います。

メディアでは「これまでに経験したことのないような大雨」や「25年ぶりの非常に強い勢力の台風が列島上陸」など、日頃聞きなれない表現があふれかえり、従来の対策では太刀打ちできない場面が増えております。自然の猛威と人間の英知の戦いのようですが、被災者を支える医療は自然の猛威に屈するわけにはまいりません。いかなる災害も凌駕し、迅速に医療を提供できるよう準備しておく必要があります。

日本医師会ではその一環として、昨年、「防災業務計画」と「JMAT要綱」を改正し、従来の「JMAT」に加え、「統括JMAT」「先遣JMAT機能」「統括JMATの条件、役割」等を明記いたしました。北海道胆振地方の地震では、初めて「先遣JMAT」を派遣しましたが、「先遣JMAT」が現地で得た情報がその後のJMATの派遣を検討する上で非常に有益であり、今後の活動に示唆を与えるものとなりました。

また、平時からの災害医療に関する教育や研修

体制の整備に加え、かかりつけ医機能を中心とした地域連携の強化も不可欠と考えています。昨年10月には、「防災推進国民大会2018」の一環として日本医師会主催によるセッションを開催しましたが、その中では、超高齢社会が到来し、「医療的ケア児」等も増えている中で、災害時に要配慮者の生命や健康を守るためには、地域包括ケアによるまちづくりが最大の災害対策であり、それが、ソフトパワーによるナショナルレジリエンス、すなわち国土強靱化であることが改めて確認されたところです。

災害対策の意味からも、引き続き、かかりつけ医機能研修制度を充実させ、関係各所との連携を密に図りながら、かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステムの構築に全力を尽くして参りたいと思います。

一方で、同じ10月には、日本医師会にとって大変嬉しい知らせが飛び込んで参りました。京都大学高等研究院副院長／特別教授 本庶 佑 先生のノーベル医学生理学賞受賞です。日本人による本賞の受賞は2年ぶり、5人目の快挙です。日本医師会の会員でもある本庶先生とは日頃から大変懇意にさせていただいており、平成28年10月にはご多忙の折、会内に設置した「医師の団体の在り方検討委員会」の委員長をお引き受けいただきました。先生の強いリーダーシップの下で、「行政から独立した医師全員が加盟する団体が必要である」等、大変示唆に富んだ力強い4つの提言を取りまとめていただきましたことは、われわれにとっても貴重な財産となっております。

この受賞と時を同じくして11月には、「日本医師会設立71周年記念式典並びに医学大会」に

において、医学・医療の発展に貢献してきた方にお贈りする日本医師会最高優功賞を受賞され、「驚異の免疫力」と題する特別講演を賜りました。

昨今、基礎医学の分野では、政府の補助金削減や成果を出すまでに多くの時間がかかるなどの理由により、研究者の減少が叫ばれております。しかし、今回受賞の対象となった先生の「がん免疫療法」は、従来、治療の手立てのなかった世界中の多くの患者さんにとって命と夢を与えたばかりでなく、基礎医学研究の重要性を訴えた強烈なメッセージになったと思えてなりません。日本医師会といたしましても、臨床を支える基礎医学に携わる方々が立派な研究成果を生み出せるよう、医療界のみならず社会全体に働き掛けて参りたいと思います。本庶先生には引き続き研究の先頭に立って、後進の指導等にも当たっていただきたいと思っております。

そして、私ごとではございますが、皆さんのご支援の下、平成 29 年 10 月に就任させていただきました世界医師会 (WMA) 会長の職務を無事全うすることができました。会長を務めた 1 年間には、アメリカ、中国、パチカン、スイスなど 14 か国に及ぶ国々を訪問させていただき、「終末期医療」「One Health」「生活習慣病」などをテーマとする会合において、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)、すなわち「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを提唱させていただきました。わが国では国民皆保険により、これが実現されておりますが、引き続き、その推進に向けた取組みを進めて参る所存です。

この間、特に印象的であった出来事は、同年 12 月、東京における「UHC フォーラム 2017」で来日された世界保健機関 (WHO) のテドロス事務局長との出会いであります。この出会いにより、WHO と WMA は今後、連携・協力を更に深め、UHC を含む国際保健におけるさまざまな課題に取り組んでいくことを確認でき、また、平成 30 年 4 月には、ジュネーブの WHO 本部において、覚書を締結することができました。その中では、両組織における優先目標が、UHC の達成と緊急

災害対策の改善であると明記することができましたが、今回の覚書の締結は国際保健分野における WMA のプレゼンスを高め、WHO との関係強化する新たな契機になったと思っております。

また、同年 9 月末にニューヨークの国連本部で行われた国連総会非感染性疾患 (NCD) に関する第 3 回ハイレベル会合でスピーチできたことも貴重な体験となりました。私は、認知症患者さんを医師が寄り添って地域で支える仕組みを紹介するとともに、成人になってからの生活習慣病を予防するために、小児期における肥満を防ぐなど、早い時期からの学校保健、学校医を通じた教育の必要性を訴えましたが、子どもの肥満対策は途上国、先進国問わず、大きな課題であったためです。

わが国では、人口減少社会に突入しておりますが、世界的にみるとアフリカ等では、人口が増加しており、未だ世界人口の半分が、健康を守るための質の高い基礎的医療サービスにアクセスできていないと言われております。「社会的共通資本としての医療という時、社会を構成するすべての人々が、老若、男女を問わず、また、それぞれの置かれている経済的、社会的条件にかかわらず、その時社会が提供できる最高の医療を受けることができるような制度的、社会的、財政的条件が用意されている必要がある」。これは、経済学者の故 宇沢弘文 先生の言葉であります。医療の本質、言い換えれば、あるべき医療の姿がここに示されており、まさに UHC の達成により得られることだと考えています。

そして、病気を診ることだけが医師の仕事ではありません。より安全で質の高い医療を提供するためにも、患者さんはもちろんですが、その人生、家族、住んでいるまちを含めて大きな視点から見る事が大切です。加えて、世界に先駆け超高齢社会を迎えたわが国では、人生 100 年時代に向け、健康寿命の更なる延伸が求められています。その実現のためにも予防・健康づくりに向けた取組みに、かかりつけ医がより積極的に関与していく必要があります。

繰り返しになりますが「健康寿命の延伸と地域包括ケアシステムの構築」、これが今、われわれ

の最も重要な目標であると同時に、これから超高齢社会を迎える国々に対するわが国からのメッセージでもあると思っておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年は 4 月に天皇陛下が御退位され、皇太子殿下が御即位されます。こうした歴史的な年に、「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」が 4 月 27 日より名古屋市で「医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～」をメインテーマに開催されますことは

大変喜ばしいことであり、会員の皆様にはぜひご参加いただきたく存じます。

新たな時代の幕開けに当たり、会員の皆様の日本医師会の活動に対する深いご理解と絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。本年もよろしくようお願い申し上げます。

## 山口県ドクターバンク

医師に関する求人の申込を受理します。

なお、医師以外に、看護師、放射線技師、栄養士、医療技術者、理学療法士、作業療法士も取り扱います。

最新情報は当会 HP にてご確認ください。

問い合わせ先：山口県医師会医師等無料職業紹介所

〒753-0814 山口市吉敷下東 3-1-1

山口県医師会内ドクターバンク事務局

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527

E-mail：info@yamaguchi.med.or.jp

## 表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会広報・情報課

E-mail：[kaihou@yamaguchi.med.or.jp](mailto:kaihou@yamaguchi.med.or.jp)



## 坂本竜馬と明治維新

徳山 篠原 淳一

坂本竜馬は高知城下の才谷屋<sup>さいだに</sup>という豪商の生まれです。商家ながら坂本家は代々、郷土株を買って生活していた裕福な一族でした。竜馬は末弟として生まれ、乙女姉さんという実姉に幼いころから育てられました。乙女姉さんは170cmを超える体格で「御仁王様<sup>おにおうさま</sup>」とあだ名された偉丈夫です。彼女の容姿が仁王像に似ていたからでしょう。

当時の彼女の写真が現存していますが、骨格雄偉な婦人で芯の強さを感じさせる顔立ちです。剣術や薙刀は皆伝に達し文武両道の女傑でしたが、結婚運が悪く、離婚した後は実家に戻って竜馬を育てています

幼いころの竜馬は泣き虫でよくオネショをしたという有名な逸話があります。実母が早世したため乙女姉さんが母親代わりに武家としての厳しい教育をしたようです。

彼女は竜馬にとっては実の母親以上の存在だったようで、乙女姉さんへの手紙が一番多く残っています。

現在、竜馬の手紙は秀吉と共に書簡文学の最高

傑作とされています。

両者とも文面に俗語や方言が多用されているため、妻や姉に対しそれぞれが愛情豊かな表現内容になっていて、読み手の情に強く働きかけるものがあります。

幕末の土佐藩は山内侍と呼ばれる上士階級と長宗我部侍と呼ばれる郷土階級が互いに反目していました。これは関ヶ原の勝ち組と負け組を意味しますが、上士の無礼打ちが許されるほど上下関係が大変厳しかったようです。

ちなみに、武市半平太は白札と呼ばれる準士官階級に属しています。

さて、幼少期の竜馬の愚鈍さを心配した兄の権平が高知城下の剣術道場に通わせました。メキメキと腕が上達したため、権平は江戸の千葉定吉の道場に入門させましたが、定吉は北辰一刀流開祖の千葉周作の実弟で「千葉の子天狗」と呼ばれた有数の剣客でした。江戸遊学の際、竜馬に送った権平の手紙が現存しています。

「男児の志を遂げるまでは土佐に帰らずしっかり剣術に励みなさい」という内容で、竜馬を思う親心がひしひしと伝わる文面です。このような深い兄弟愛に恵まれてのびのびと育った竜馬でした。

江戸に剣術修行に赴いたころは身長 170cm と当時としては大男に成長しています。数年で北辰一刀流の免許皆伝に達し千葉道場の塾頭にまで登りつめてますが、もともとの拳銃好きで実戦での斬り合いは生涯に一度もなかったようです。戦闘場面では必ず拳銃で応戦し、刀を抜いての応戦は記録にはほとんどありません。性格的に斬人斬馬が嫌いだったのでしょう。拳銃の腕は百発百中だったようです。

竜馬の写真が現存していますが、茫洋とした風貌で当時珍しかった靴を履き懐手したものです。懐には拳銃を持っていたのではと推測されます。生来の近視があったため遠くを見つめるような眼差しで、いかにも土佐風の男性的風貌です。

女性関係もなかなか賑やかで、千葉道場での修行中、千葉定吉の娘の佐那子と恋愛関係になり結婚まで約束したようですが結局、竜馬は出奔してしまいます。佐那子は最後まで自分の夫だと信じていたらしく、現在も信州の地に「坂本竜馬妻」という墓標が残っています。いやはや、なんとも気の毒な話です。

お龍さんとの関係はみなさん御存知の通りです。乙女姉さんへの手紙にも「なかなか面白き女にて・・・」といった文面がみられます。煮炊きや掃除が全然だめだったそうで、茶道などの芸事が得意な気の強い女性でした。写真が現存していますが細面の京美人です。あの有名な寺田屋事件でも幕府の役人が寺田屋に踏み込もうとした際、入浴中の彼女が階段を駆け上がって竜馬と長府藩士の三吉慎蔵にいち早く報告しています。竜馬は踏み込んできた捕縛吏に対しピストルで応戦しましたが左手の親指に深手を負い、出血多量ながらろうじて薩摩藩屋敷に逃げ込みました。竜馬は薩摩藩側に丁重に保護され、疵療養のため藩内の温泉にお龍さんともども出向きましたが、これが我が国最初の新婚旅行とされています。

この旅行の様子を乙女姉さんに手紙で報告しますが、図入りの楽しい内容です。いかにも竜馬らしい手紙と私は思いました。

江戸留学の際、勝海舟との出会いがその後の竜馬の運命を決定づけました。

ある日、千葉定吉の長男の重太郎とともに暗殺目的で勝海舟邸に赴きましたが、逆に現在の日本の貧弱な国情について諄々と説得されて、その場で海舟に弟子入りしています。

「今の幕府はもう屋台骨が古すぎて日本を救えない。国内諸藩が力を合わせてアメリカやロシアに立ち向かわないと日本は潰されてしまうよ」といった内容でした。海舟は御家人という下級士族ながら歯に衣着せぬ発言が多かったようで、慶喜公とは最初から相性が悪かった人物です。竜馬は海舟の妹婿の佐久間象山や肥後藩出身の横井小楠を紹介され、当時の世界の状況について耳学問ながら世界知識を得ています。

また、彼は土佐藩脱藩後は同じ脱藩浪士を集めて「海援隊」を創設しました。

その後、犬猿の仲の長州藩と薩摩藩を結びつけた「薩長連合」に奔走したことは有名な話です。米不足の薩摩藩と武器不足の長州藩との間でそれぞれ足りないものを交換させたのが竜馬のアイデアでした。この結果、お互いの憎悪が解けて薩長連合が成立し、両藩は武力討幕へと動いていきます。

その後は「大政奉還」という難事業に取り組んでいます。諸侯会議の席で土佐藩代表の後藤象二郎は幕府の政治を朝廷に返上するように慶喜に求めています。後藤象二郎は竜馬の長年の盟友でしたが、諸侯会議直前に「朝廷へ政権返上を促すよう強く説得するように」との竜馬の根回しがあったようです。結局、慶喜公は朝廷に政権を返上することになります。

竜馬という一介の脱藩浪士がこういった大掛かりな政治活動を行ったわけです。

大変な行動力ですが、この後も有名な船中八策を立案し後藤象二郎に提示しています。これは大政奉還後の新国家案ですが、海援隊士の長岡謙吉が筆記した実物が現存しています。土佐藩はこれを藩論として薩摩藩と盟約を結びました。こうし



## 平成 30 年 7 月 7 日 水害発生

光市 河村 康明

## 平成 30 年 7 月 6 日（金）・水害前日

その日、私は午後の診療を終え、玖珂地域に訪問診療に出務しておりました。今思えば、かなりの雨が降っていたと感じております。帰路は雨混じりの曇天の中、島田川沿いに周東町から光市方面に向かって下りましたが、島田川の水位の上昇のためか、普段、運転中に川面を見ることはないのですが、この日は土手を越えそうな勢いで川が流れているのが目に映りました。

当院は、島田川の土手のすぐ側にグループホーム（9名）とデイサービスが位置しており、中庭を挟んで県道側に自宅・外来・病棟（19床／現在は医療療養病床4床・介護医療院15床）があります。

夕方には島田川の水位は警戒レベルに達していたでしょう。グループホームの施設長が周南市に帰宅しようとしていたのですが、豪雨のために交

通渋滞でとても帰りきれないと判断し、戻ってまいりました。夜6時頃だと思いますが、危険性が増したと判断し、グループホーム9名を病棟の2階に避難させました（グループホームの職員は当直ヘルパーと施設長の2名）。

## 7月7日（土）・水害当日

6日夜8時～翌日午前2時頃まではそのまま状況をみておりましたが、2～3時に車のタイヤが水に浸かり始めたので、車を移動させました。（最終的には、医院の車3台と職員の車2台の計5台が使用不能となりました。）

3時に緊急サイレンが鳴っておりましたが、その意味は認識不足でわかりませんでした。（状況から判断すれば、島田川の氾濫は想像できます。）

4～5時に床上浸水が始まりました。当院の病床は1階が10床、2階が9床ですが、1階の



左側：水害前、右側：水害後

10名を2階に移動させることにしました。しかし、停電が発生しエレベーターが動かないので、全員で患者を2階に移送しました（家人3名、病棟当直2名、グループホーム当直2名の計7名で垂直移動）。午前7時頃には床上35cmに達し、午前8時頃より徐々に引き始めました。

この間、午前5時半頃、給食室の管理者が消防団に引率され到着しました。後の話とはなりますが、当院が水没の中心に位置したため、当院のスタッフは10時半頃になって通行止めの解除で徐々に到着しました。ただし、5名は自分の家も災害に遭っているため、避難場所等へおり、登院不可能でした。

夜が明け始めた午前5時頃の状況は、前の県道が濁流となり、車やクーラーボックス、サッカーボール等が流れていたのが見えました。院内ではパソコン類を中心に水没しないように高所に移動させましたが、動かさないコピー機、また、レントゲン装置等は使用不能になりました。その後、流入したヘドロとの闘いが連日続くことになりました。

呆然としていたので全員は思い出せませんが、さまざまな医療機関、諸団体、ボランティアの人にお世話になり、筆舌に尽くし難いほどの感謝の念でいっぱいです。



- 水害後、使用不能となったのは、
- ①医療機器ではレントゲン関係、検査機器
  - ②高圧受電設備（キュービクル）
  - ③スプリンクラー室外装置
  - ④エレベーター
  - ⑤電話、ファクス
  - ⑥給湯器
  - ⑦エアコン

で、多くの物は基盤が水没したことによる被害です。今後の対策としては、基盤の位置を高くする以外にはないでしょう。幸い水道は無事だったので、電気も当日午後には復旧し、何とかまりました。発電装置やゴムボートの必要性も感じました。

#### 7月8日（日）

この日は一日中、ヘドロとの闘いに終始しました。

#### 7月9日（月）

午前中はヘドロを掻き出すことに努めていましたが、午後は、院長は居ても役に立たないということで、訪問診療（上関・柳井・徳山）に出ました。ただし、いたるところで道路が寸断されていて、特に光→下松間の山陽本線が不通となったことによる車の大渋滞が起きていました。



**7月10日(火)～11日(水)**

診療を開始しましたが、駐車場にヘドロや家具が積み重なっており、受診を遠慮してしまうのか患者は少なかったです。

**7月12日(木)**

この日より仮の診察室を設け、外来診療を再開。

**後日談**

- ・看取りの段階に入っていた終末期の患者の家族から突然、他院に変わりたいとの要望が出され(とても転院できる状態ではないのに)、患者家族の心理を垣間見ました。
- ・罹災届証明書を行政に提出しましたが、損保関係は2週間以内に入金まで完了するのに比して1か月以上かかり、まさしく行政だなと感じた次第です。
- ・被災当日から、見舞いや差し入れを持って、大勢の人が来られました。ありがとうございました。

おかげさまで、盆過ぎに正常復帰しました。当院のスタッフで被災をした者も、自宅を後回しにして復旧に手を貸してくれました。私の大切な人財です。重ね重ねありがとうございます。

**歴史は語る**

当院の下流 200 m くらいの所に、高さ 20 ～ 30 m の小高い丘があります。現在は自治会長をイノシシ、民生委員をタヌキが務めておりますが、そこは古墳時代の土器の破片が現在でも出土しております。私も中学生の頃は将来の考古学者を目指して土を掘っておりました(男のロマンです)。

その場所は現代で例えるならば〇〇台とか△△ニュータウンなのでしょう。古代の人は川が氾濫するのを想定し、この丘の上で生活していたのだと思います。古代の人は水の恐ろしさをちゃんと理解していたようです。



## 中華料理を初めて食べる

岩国市 藤本 典男

台湾台北の民生東路一段52号にある「鼎極魚翅」(フカヒレ、アワビ料理専門店)という店がある。店長は肥えた中年女性であった。私は大阪にも15年ばかり住んだこともあったが、貧乏なサラリーマンで名のある中華料理店に行ったことがなく、フカヒレどころか、まともなアワビさえも食べたことがなかったのである。

中華料理屋と称するものには少なくとも数回は行っているに違いないが、思い出せる料理は鶏肉の揚げたもの、八宝菜、チンジャオロース、酢豚くらいのものである。

だから台湾の台北で、どうしたはずみか真面目なこの種の料理を初めて食べたので、普通の人から見れば、こうしたばかばかしいようなことを書く気になったのである。

台湾の3泊4日の旅行をしたのも、実は上海、無錫、蘇州に行く予定を北朝鮮がミサイルをたびたび打ち上げるので、阪急公社が募集したこの旅行を取りやめることになったためである。

せっかく休みをもらっているのに、どこか行く所はないか、となつて安全な所へということで、台湾になった。

20年ばかり前に台北には来たことがあったが、少し南の高雄までという事にしたのである。台北から台湾新幹線に乗って高雄まで行くのかと思ったら、中台中市という大きな都市があり、そこまで旅行業者の車で行き、そこで1泊し、そこから台南市まで行き、さらにバスに乗って高雄市に入ったのである。

そして、高雄市では左營慈濟宮龍虎塔(Dragon and Tiger Pagodas)という、いかにも中国的な建物のある広大な公園まで訪れたのであった。それがJTBの予定表に入っていたらしい。

まあ、その間のスケジュールときたら、80歳を過ぎた私には過密すぎて、ろくにその旅程を覚えることもできないほどのものであったが、何しろガイドのJTB職員(この地の女性)が熱心に台湾を紹介するので、やむなく旅程を何とかこなしたものである。

この人は日本語も上手で、台湾の歴史をよく勉強しているうえに、ガイドの仕事が好きとくるから手に負えない。

しかし、彼女のおかげでまともな中華料理が食べたのだから、感謝しなければならない立場にはある。

高雄から新幹線で2時間ばかりかけて台北のThe Landis(台北亜都麗緻大飯店)に夕方ごろ着き、台北の有名な店で飯を食い、6人の共に旅行した人達と長話をして帰ると、翌日の午後2時過ぎには日本へ帰るために飛行場に行くことになっていて、少なくとも午前中は暇なのであった。

しかし、何しろこの街のこともわからないので、私の連れがガイドさんに電話して何処かに連れて行くように頼んだらしい。まさか、中華を食べるとは思わず、バイキングの朝食をしたら私は食べていたのである。旅行に出かけてから、私は食欲が盛んになっていたのであった。元来が外国旅行が好きで、英語を使う機会が増えるためであろう。

余り大きくはない店で、2階に上がった。この店の店長さんも中年女だがガイドさんとは昵懇の間柄らしい。最初に何の飲み物が出たか覚えていない。まさか私は中華料理を賞味するとは思ひもしなかった。そのことは尋ねもしてないが、あるいは妻が頼んだのかもしれない。何か言うと面倒な話が出るので、出来るだけ家では妻と口を利か

ないことにしている。とかく女は老人の私にはうるさく感じられるのである。

最初に地物のエビのフライが出て、なるほどエビの味は良かったが、またもこんなものを食べられるのか、という思いであった。

その次にフカヒレが急に出たのでびっくりした。確かに乾燥した魚のヒレが数個も皿の液の中に浮かんでいるのである。食べたこともなかったが、これは見ただけで分かった。特別うまいものでもないが、薄味の魚汁も悪くはなく、ヒレも口に入れると固くもなかった。干物を柔らかくした感じはあった。次に何が出たかはよく覚えていないがアワビのような気もする。

これも似たような感じの物であったが汁気が少なく、要するに大きなアワビを食えという皿であった。確か、大阪から近鉄に乗って賢島に行き、そこの豪華料理屋で少しは食べたことがあるが、丸ごとアワビが出たのは初めてであった。

大きなアワビは台湾では取れないそうで、オーストラリアから取り寄せたものだそうだ。これも確かに悪くはなかった。何しろ、朝飯を食いすぎている、食欲がないからうまい物もうまいというところまでいかないのであった。

次にロブスターが出た。これがまた大きなヤツで、手足はないが、甲羅を除いた所にチーズと香辛料を塗り込んでいた。何しろ量があるので、妻も私もちょっと味を見ただけで、食べる気はしなかった。ロブスターは人様から 1～2 度はもらったことがあるが、その時には料理の仕方がわからず、ただ焼いて食べたが、見た目には豪華だが味となると、うまいともまずいとも言えない代物であると思っていたのである。

しかし、さすがにこの料理はなるほどと思わせた。これだけ出ると、うんざりだが、そこからさらに、焼き飯が出る。何かおかずのようなものがついてしたが、2 人とも食欲がないので、ちょっと口をつけただけであった。

それで終わりかと思っていたら、次に燕の巣というのが出た。名前は聞いたことがあるが、私は果たして食べられるものかと思っていたのである。それがどろんとしたスープの形で出て、その中にタピオカの小さな粒のようなものがたくさん浮かんでいた。燕が唾液を出して海藻など固めた

ものが、それらが塊になっているものを小さくしたのであろうか。物珍しく、ともかくスプーンで口に入れると、案外に口触りの良いものであった。なるほど、肉ばかり食っていると、これは一味違うごちそうであった。

この台湾ではタピオカミルクティーというものが大流行で、これが華僑たちのお気に入り、世界中の中国人にこの飲み物が広がっているそうである。タピオカという澱粉を 5 ミリぐらいの透明な粒にして、それをミルクティーの中にたくさん浮かばせているという飲み物である。私も中台市の店で飲んだが、量ばかり多くてどこがよいのかわからなかった代物で、私のような年寄りの飲み物ではなかった。周囲を見ると若者ばかりが、ポテトチップなどのスナックをつまみながら飲んでいるのが目立ったものである。タピオカミルクティーなるものは若者には安いうえに、量があるので時間をつぶすにはもってこいの代物であるらしい。

なるほど、中国人は毎日、豚肉ばかり常食にしていると、たまにはこういうものが口に入れたくなるのか、と思われるほど口になじみ、まあ、うまいといえぼうまいという代物であった。

この飲み物だけには私も少々感心したのである。そのあとはパイナップルの果物のようなものが出て終わりであったが、初めて中華料理を食ったという感じがしたものである。

誰しも、多少は値段のことが気になるものだが、8 千円ぐらいであった。1 元が 4.3 円ぐらいというから、日本の金だと 3 万 5 千円ぐらいであろう。それにしても、これだけのものが出て、この値段なら安いと思う方が普通であろう。台湾では思わぬ御馳走にありついたことになる。住所は最初に書いておいたので、この中華料理が食べたい方は訪ねることができると思う。

ガイドさんは菜食主義だそうで何も食べないから、少々気の毒であったが、良い店を知っていることにはびっくりしたものである。熱心な JTB 台湾職員であった。

まともな中華料理を初めて食べたので、この、どうでもよい旅行も値打ちがあったといえよう。

(6 月 12 日 2017)

## 弥生という時代

山口大学 しまふくろう

わが県には日本でも有数の弥生時代の遺跡があるのをご存知だろうか。

響灘に面する土井ヶ浜遺跡である。

ここでは、北部九州を除くと圧倒的な数の「弥生人骨」が出土している。保存状態の良い300体以上の人骨である。日本列島の特殊な土壌事情（酸性土）のために、弥生時代の人骨の数は実は驚くほど少ない。1990年代ごろまでは、ほとんど「弥生人骨」は見つかっていなかった。土井ヶ浜遺跡の墓地をおおった砂の中には、海岸から吹き飛ばされてきた貝粉が多く含まれ、そのカルシウムが溶解、アルカリ性砂地をつくり、また、骨に浸透したために奇跡的に人骨が残ったのである。



イラスト：司馬さやか

この地では西北の強い季節風が吹きつけ、風は黄砂を運び、大陸の匂いを伝えている。そのためか、ほとんどすべての人骨は頭を東南にし、あたかも西北の海の方に顔が向くように頭をもたげて埋葬されていた。死してもなお、ふるさとを偲んでいるのだろうか。



写真1 白波立つ土井ヶ浜。眼前には響きの海が広がる。

この遺跡は1950年代から九州大学医学部の金関丈夫博士らにより精力的に発掘・研究され、世に知られるようになった。形質人類学者であった金関博士は、土井ヶ浜弥生人の特徴を調べ、この人たちは朝鮮半島を含む大陸からの渡来者であり、先住の縄文人と混血していったと発表し、大きな反響を得た。

先日、この土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムを訪れた。2月の土曜日の昼で、来訪者はぼく一人であった。ここのドームは圧巻である。中に入っていくと、発掘時を再現した

ように人骨が配置され、一人で歩いていると、まるで黄泉の国に迷い込んだような不思議な感覚におそわれた。興味を引かれたのは、縄文時代にはほとんどみられなかった「殺傷痕」のある人骨が多々認められることである。骨に鏃が突き刺さったままのものや何かで斬りつけられたか、殴打されたあとが生々しい人骨がある。124 号人骨とよばれるものには、全身に 15 本の矢が突き刺さっていた。戦死者か、ひょっとしたら処刑されたのかも知れない。

夫婦と思われる合葬跡もある。興味深いことに、一体は縄文人の人骨の特徴を有し、相方は弥生人の人骨の特徴を有しているものがある。兩人骨は素人のぼくにでも容易に区別がつく。このようにして混交し、倭人と呼ばれる人々ができあがっていった事実をみせられると、とても感動的である。

紀元前 1 万 3000 年～紀元前 800 年の、いわゆる縄文時代の狩猟採集民の人骨を調査したところ、暴力による骨損傷（殺傷痕）の割合は低く、全期間の平均で 1.8% ほどであったとの山口大学の中尾 央 らの報告と、この弥生時代の遺跡の人骨の有り様をみると、深く考えさせられる。

“倭国乱れた”との「後漢書」などの記載はどうやら事実のようだ。わけても弥生時代中期～後期の遺跡で子供や女性の人骨を含む虐殺や戦闘の跡が見つかっている。特に鳥取県青谷上寺地遺跡



イラスト：司馬さやか



写真 2 出土した暗文を施した弥生の壺：洗練された美しさがある

の発掘調査の報告は生々しい。弥生時代後期の溝状の遺構に、堆積するような状態で大量の「殺傷痕」のある人骨が見つかった。

縄文時代と弥生時代は明らかに様子が異なる時代である。紀元前 10 世紀末に北部九州で始まった稲作や金属器を中心とした社会・政治・経済・祭祀などの弥生文化は、数世紀をかけて近畿地方へ伝播している。意外とゆっくりである。社会があらたな生活手段や文化を許容する場合、既存のものに比べ明らかに優れていないと、なかなか受け入れないのは当然である。日本列島は豊かな“まほろぼ”の土地であり、縄文人たちも 1 万年以上前から当時の世界最高水準の生活レベルを維持していたのであるから、おいそれとは生活スタイルは変えなかったのだろう。

したがって、両生活文化の境界ではさまざまな軋轢があったであろうことは想像に難くない。人類は農業を選択すると、たいがいの場合戦争を始める。余剰生産によって人口が増え、農地を増やさなければならなくなるからである。争いになれば、強く賢い指導者が求められる。こうして、組織的な戦争が始まったのだ。弥生文化において重要な条件は平坦な土地と水の確保であった。人は平等でも、土地環境はそうではない。豊かな条件の土地とそうでないところがある。そこに争いが

起きる。例え一族・親戚や親・兄弟でも。いや、それだからこそ争いはさらに激しくなる。これが農家の次男であるぼくも見てきた、現在まで続く人間の真実である。

この点を了解した上で、弥生時代以降の列島史を考えないと、ぼくたちは本当の日本史を見誤ることになる。決して「名こそ惜しけれ」だけで日本史が推移したわけではないだろう。本誌の読者の多くは医科学者である。その「理性」でもって、この列島で生まれ育った「倭人」が、その後の律令国家の「国民」になる過程を含め、学んだ教科書を離れて再考する時期が来ているのではないか。

なぜなら、弥生時代は今に続く「日本人」のスタート時点と考えるからである。この土台の上に立って未来を見据えなければ、国の進路は見えてこないと思う。

参考資料：

1. 「土井ヶ浜遺跡と弥生人」  
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
2. 「弥生時代の歴史」藤尾慎一郎  
講談社現代新書
3. 「骨が語る日本人の歴史」片山一道  
ちくま新書
4. 「魏志倭人伝・後漢書倭伝・宋書倭国伝  
・隋書倭国伝」岩波文庫  
後漢書倭伝：桓帝（147-167 在位）・靈帝「（168-188 在位）の間、倭国が大いに乱れ、かわるがわるたがいに攻伐し、歴年、主がいなかった。一女子がおり、名を卑弥呼と  
いった。年が長じても嫁にもゆかず、鬼神の道につかえ、よく妖をもって衆を惑わした。そこで、共に立てて王とした。」
5. 「この国のかたち」司馬遼太郎 文藝春秋社
6. 「街道をゆく」司馬遼太郎 朝日新聞社
7. 「縄文という時代」  
山口県医師会報 平成 29 年 1 月号



## 第 24 回四万十川ウルトラマラソン出走記

～やむなくリタイアし、千載一遇のチャンスを逃した

宇部市 金沢 守

私は 2018 年 10 月 21 日に高知県四万十市で開催された“第 24 回四万十川ウルトラマラソン 100 キロの部”に出場しました。結果は約 68 キロ地点で、やんごとなき事態が発生し、そこでリタイアしています。私は過去に 3 度、四万十川ウルトラマラソン 100 キロの部に出場しています。この大会は抽選型大会で、なぜか西暦でも元号でも偶数年には当選しています。

過去の戦績は以下の通りです。

2012 年 10 時間 04 分 24 秒

2014 年 10 時間 25 分 02 秒

2016 年 11 時間 06 分 01 秒

2012 年に出した記録は長く私の 100 キロウルトラでの自己ベストでした。2018 年 6 月のサロマ湖ウルトラマラソンで 10 時間 1 分 13 秒という何とも際どい記録を出してしまったので、6 年ぶりに自己ベストの座を明け渡しています。2016 年の記録が低調なものに終わってしまったのは、2015 年 8 月に大怪我(第 2 頸椎歯突起骨折)をしたことが影響したのは否めません。2015 年 11 月に退院しましたが、運動を再開したのが同年 12 月のことだったからです。2016 年 2 月の東京マラソンでフルマラソンへの復帰を果たしましたが、4 時間を切る事が出来ませんでした。

レース前日の私の旅程は以下のようになっています。

新山口 9:46 → 岡山 10:52

岡山 11:05 → 高知 13:41

高知 13:49 → 中村 15:31

サロマ湖ウルトラに行く時ですら、12 時まで働くことは可能なのに、距離的には近い四万十市に行くのに、土曜日の午前中から出発しなければならないのは不本意でした。四万十川ウルトラマラソンは大会前日の 11 時から 18 時の間に受付

を済ませなければなりません。事前にゼッケンを郵送してくれるサロマ湖ウルトラとは違います。

四万十川ウルトラマラソン 100 キロの部のコースは序盤(15～20 キロ)に結構きつい坂があります。そして中盤(55 キロ過ぎ)にも、序盤の坂に比べたら大したことはありませんが、ちょっとした坂があります。ちなみに、サロマ湖ウルトラはコースの標高差は 195m であるのに対し、四万十川ウルトラは 850m あるので、この数字だけを比較すると、明らかにサロマ湖の方が記録は出やすそうです。

作戦としては 2018 年のサロマでも実行した小エイドで費やす時間は 10 秒以内、大エイドで費やす時間は 60 秒以内のルールを徹底的に守ろうと考えてレースに臨みました。なお、小エイドとは水分やバナナやパンなど簡単な食べ物を準備してあるエイド、大エイドとはそのエイドに預託することが出来る専用のバッグがあり、そこでウェアやシューズを着替えたり、自分の食べたい物をその袋に入れておいて食べることもできるエイドを指します。ラスト 10 キロでサブ 10、即ち 10 時間以内での完走の可能性が少しでも残るような展開に持ち込みたいと考えていました。

なお、中村駅近くにはコンビニもちょっと離れたところにしかありません。近くに美味しい物を食べる事が出来る店もなくはないですが、おそらくそんな所に寄っている時間的余裕はありません。又、中村駅構内に売店はありますが、夕方にはもうほとんどの食べ物は売り切れています。車内で何か食べたいと思うなら、前日にコンビニでパンなどを購入しておかなければ、えらい目に遭います。高知駅の売店も早い時間に閉店しますので、中村駅を出てから岡山駅に着くまで何も買

うことが出来ないという悲劇を私は一度経験しています。

レース当日の高知県四万十市の天候は晴れ、最低気温は 10℃を下回っていました。私は午前 2 時半に起床し、午前 4 時前に中村駅前からスタート会場となる蕨岡中学校まで向かうシャトルバスに乗り、4 時 20 分頃にはスタート地点に到着し、手荷物を預託しています。急に冷え込みが厳しくなったので、既にウェアには着替えていましたが、更衣室となっている体育館に避難しています。四万十川ウルトラマラソンではスタート地点に松明が灯されます。この松明で暖を取る選手がたくさんいました。しかし、日中の最高気温は 23～24℃まで上がっています。風は涼しかったので、決して走りにくいコンディションではありませんでした。手元の Garmin935XTJ (GPS 機能付き腕時計) の計測によれば、68.42 キロを 6 時間 28 分 57 秒かけて走り、3,585 カロリーを消費しています。平均ペースはキロ 5:41 分、平均心拍数は 142bpm、最高心拍数は 172bpm、高度上昇は 762m でした。もし、不測の事態が生じず、普通に 70 キロを通過したとしても、7 時間までは 20 分程度の貯金があったと思います。先にも述べましたが、四万十川ウルトラには 2 箇所の難所があります。68 キロ地点では、既にこの 2 箇所の難所は終わっています。ちょっとしたアップダウンはありますし、ゴール前に一ヶ所、激坂がありますが距離は短いです。残り 32 キロをキ



ロ 6 分ちょいのペースで走っても、どうにかサブテンは達成出来ると踏んでいただけに、悔しい幕切れになりました。

しかし、2018 年にはサロマ湖ウルトラ 100 キロの部で、僅か 10 キロしか走れず、やんごとなき事情によりリタイアしたことを思えば、この日はまだマシだったと思います。

私は特別にウルトラ対策の練習はしません。ほぼ毎朝 14～15 キロを走るだけです。それでも何とかなるといふ自信を得ることは出来ました。

まだ体力や気力が限界に達していないのにリタイアするのは辛いです。しかし、自分自身のレースよりももっと優先しなければならないことが生じる時もあります。そして、そんなアクシデントは何故か遠方で行われている大会の真っ最中に起きることが多いのです。詳しくは触れませんが、山口に少しでも早く戻らなければならない事態が発生したため、私は競技を中断しています。



形としては手ぶらで帰ることになっていますし、一生に一度でいいからサブテンをやりたいという願いは叶いませんでした。又、土曜日を臨時休診にしてまで参加した大会がリタイアとなってしまったことについても思うところはありました。

リタイアを決断した判断は間違っていないのですが、リタイアバスがなかなか来なかったことや、そのバスも大会に出場している選手達が走る狭い道路を走るので、フィニッシュ地点に到着するのに異様に時間が掛かっています。そのため中村駅発 13 時 24 分の電車に乗れなかったため、15 時 10 分発の電車に乗らざるを得なくなり、山口に戻るのが望外に遅くなってしまいました。

私はこれからも遠方で開催される大会に出場すると思います。私も 2018 年 11 月には 55 歳になりました。一般的に 55 歳を過ぎると、もう記録を伸ばすのは難しいと言われています。しかし、今回、6 年前の自分の記録を超える可能性を



感じながら走っていたことは自信になりました。四万十川ウルトラにはこれまで通りの確率でいけば、2019 年は落選する予定ですが、長距離走の女神が気紛れに私の微笑んでくれる可能性もまだゼロとは言えません。気力と体力が続く限りは、もう少し悪あがきを続けようと思っています。



## インフルエンザの季節

光市 広田 修

インフルエンザワクチン接種の季節がやってきました。

9 月最終週に最初のインフルエンザ患者さんが来院した年があって以来、スタッフには 10 月初旬から 1 回目の予防接種をするようにしています。患者さんには 10 月後半から接種を開始しますが、本番は 11 月からです。

最初に来院されるのは、お年寄りの患者さんと 1 回目接種の子どもたちです。赤ちゃんから 2～3 歳までは、何が起るかわからないので普通に診察室に入ってきて、みんな大泣きしながら出て行きます。3 歳過ぎからは「何かヤバイ」と思うのでしょうか、入る前からベソをかく子が出てきます。泣きながら退室すると外で待っているお年寄りが褒めてくれ、泣き顔から笑顔に戻ります。

小学生くらいから、

「僕はバイキンに負けないように頑張る！」

と意地を張る子が出てきますが、注射後はやはり少し涙目。11 月前半は日本全国、こんな風景でしょうね。

11 月後半になると、小学校高学年、中学校以上の子が増えてきます。もう泣く子はいません。親御さんより背が大きくなった子、声がわりをした子、ヒゲが生えた子（子？）、言葉遣いも大人びてきます。学年が上がるにつれ病気にかからなくなるので、久しぶりに顔を見る子が来院し、時の流れを感じます。地元に戻って 18 年、初期の頃の子どもたちがそろそろ親になって子どもを連れて来るようになり、まるで孫を見るような気分になります。

12 月に入ると、2 回目接種の子どもたちと、働く世代が主体になります。補助が出たり集団接種を行う職場が増えているのは、集団免疫効果が

期待できるのでとても良いことだと思います。

2 回目接種の子どもたちはハナから警戒しています。

「セキもお鼻も出ないのに、何で私は病院に来たの？あつまさか!？」

こうして子どもたちは大きくなっていくのです。

12 月後半になると、本物のインフルエンザ患者さんが来院するので、注意が必要です。当院は予防接種専用の時間帯を設定していないので、診療時間内のいつでも接種できます。ある時点から発熱患者さんは隔離室へ入れるようにしていますが隔離するかどうかの見極めはかなり困難で、第一例がいつ出るか、毎日ヒヤヒヤしながら接種しています。10 年ほど前から、有志で作られたインフルエンザ流行前線情報 DB (<https://ml-flu.children.jp/index.php>) に登録しており、このサイトは前年に第一例が出た日を自動で知らせてくれます。2017 年は 11 月 22 日でした。2009 年、いわゆる新型インフルエンザ発生の際は初発は 8 月 22 日との記録が残っており、“新型”の特殊性がよくわかります。

インフルエンザの流行情報は、以下が有用です。

・国立感染症研究所

感染症発生動向調査週報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/>

2018.html

・学校欠席者・感染症情報システム

<https://scl11.953862.net/>

schoolkoukai/view\_all.php

・山口県感染症情報センター

<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/>

kyoho/page2.php

- ・ ツイートフル

<http://tweetflu.jp/index.php>

- ・ 薬局サーベイランス日報

<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanjyasuikei/index.html>

年が開け新学期。インフルエンザとの戦いが始まります。隔離室をフルに使い、院内感染を何としても避けなければなりません。きつい思いで受診される患者さんには申し訳ありませんが、車で待ってもらうことも少なくありません。

さらに心配なのは、予防接種をした患者さんたちです。せっかく痛い思いを我慢してくれたのに

かかってしまうと、私のせいではないかもしれませんが申し訳ない気持ちになります。ワクチン接種者のうちインフルエンザにかかった際、その全員が当院を受診したと仮定すると、2017～18シーズンは2%が罹患しています（これは有効率が98%を表すものではありません）。患者さんへの普段からの指導は言うまでもありませんが、予防接種者がもっと増えれば良いと思います。

皆様も、どうかご自愛ください。



# オモダカ

徳山 中村 和行

オモダカ (Sagittaria trifolia) はオモダカ科オモダカ属の水生植物 (図1) で、日本の水田や湿地などに自生します。その種子だけでなく塊茎でも繁殖するため、除草し難い水田雑草として農家からは厄介者扱いされます。また、観賞用に栽培されることもありますが、めったにお目にかかることはありません。しかし、その栽培変種のクワイは、塊茎が食用となるために盛んに栽培されて、おせち料理などに使われます。クワイはその外形から「芽が出る」ことを連想させるため、縁起物として親しまれています。日本ではオモダカの葉や花を図案化した家紋が使われ、おもだかもん 沢瀉紋と呼びます。慶事用の切手にも図案化されています。



図1. オモダカの写真 (Wikipedia オモダカより引用)

さて、毛利元就の家紋といえば長門三ツ星紋です。星は「軍神」として信仰されていた將軍星ですが、替紋として使われたのが長門沢瀉紋です。オモダカの花は古くから勝利に縁があるといわれています。沢瀉紋は Wikipedia によると40種類はあるそうで日本の植物を図案化した家紋の代表格でもあります。毛利家支藩の徳山毛利の紋章 (図2) も沢瀉です。

「吉文字に三つ星」である。同史料では一文字に三つ星も長井・竹藤・萩とともに連名で掲載されている。定紋の「一文字に三つ星」は別名、長門三つ星ともいうが、同図案の家紋は長門毛利氏に限らず長井氏などの大江氏の氏族によって使用されている。分家筋の徳山藩、府中藩の毛利家も同様の構図で一文字の図案を少し変えた一文字に三つ星を使用している。「一文字に三つ星」を分解すると、一文字は「かたきなし」(無敵)の意味を持ち、三つ星は軍神として信仰のあった將軍星 (オリオンのベルト) を表している。全体的な形は、律令制における最高位を意味する「一品」いっぽん という文字を表している。替紋の「長門沢瀉」は沢瀉紋の抱き沢瀉であり、中央の花序を抱くように2つの沢瀉の葉が描かれている。毛利元就が、戦の前に勝虫であるトンボが勝戦草であるオモダカに止ったことを見て戦勝したことに因んで家紋として使わ

注:毛利家の家紋は、定紋を「一文字に三つ星」、替紋を「ながとおもだか長門沢瀉」とする。下賜された紋としては、十六菊 (正親町天皇から) と五七桐 (足利義昭から) がある。具体的な使用は不明であるが、『見聞諸家紋』で安芸毛利として掲載されている紋は



図2. 毛利家家紋 (Wikipedia 毛利氏より引用)  
左側が定紋、右側が替紋

れたものである。関ヶ原の戦い以降は、定紋の一文字三つ星に替って徐々に使用頻度を増やした。  
(Wikipedia より引用)

ところで、『沢瀉の紋章の陰に』と題した歴史小説があります。著者は吉田紗美子です。昭和60年の第8回放送文学賞を受賞したものです。受賞作は明治維新の夜明け前の幕末動乱期に、毛利徳山藩で藩論が俗論派と正義派に分かれて、両派がせめぎあった悲惨と藩士たちの動向を描いたもので、史実に基づく「徳山七士殉難」を題材にしたノンフィクション小説です。

元治元年（1864年）8月12日に自宅玄関前で俗論派の刺客に襲われ義兄の児玉次郎彦が暗殺された場面を百合若（元服前の児玉源太郎）が発した緊迫感のある言葉で描いています。

「姉さま、これはただ事ではない。わしは浅見へ走って、兄上にゆだんするなとつたえてくる」

百合若の姉ヒサは次郎彦の妻である児玉久子です。ヒサは百合若を慈しみ、よく本を読み聞かせて後の児玉源太郎の知的な精神基盤となったともいわれています。源太郎が徳山に遺した児玉文庫はヒサの存在が大きいと考えられています。ヒサについては小説『沢瀉の紋章の陰に』と児玉源太

郎顕彰会会報『藤園』第3号に兼崎人士氏が書かれている『沢瀉の紋章の陰に』をご覧ください。

さて、「藤園」は児玉源太郎の号です。児玉源太郎の没後110年にあわせて元徳山市長の小川亮氏を会長として児玉源太郎顕彰会が設立されました。ご存知のとおり児玉源太郎は1852年4月14日徳山藩藩士の家に生まれ、長じて明治維新後の日本の富国強兵に尽力し、日露戦争の参謀長として乃木希典大将とともに日本を勝利に導いた英傑として知られています。源太郎は議会制を



図3. 『藤園』第3号)

もって日本の近代化を夢見ていましたが、残念ながら 1906 年に（Wikipedia では 7 月 23 日に脳溢血で亡くなったとあります）急逝しました。彼が存命であったら日本の近代化は変わっていたであろうといわれています。顕彰会では 7 月 24 日を源太郎の命日として「藤園忌」と定め、児玉神社で命日祭や菩提寺の興元寺で供養をしています。平成 30 年は明治維新百五十年を記念して徳山藩初代の毛利就隆公と幕末の 9 代毛利元蕃公を祭神とした祐綏神社ゆうすいでの祭典をはじめ、史跡散策や記念講演会でふるさとの歴史を学びながら児玉源太郎を中心とした幕末から明治にかけての歴史を紹介する企画展などを周南美術博物館で開催しました。また、会報として『藤園』やニュースレター『本丁通信』を発行しています。

明治維新百五十年記念事業の中核として山口きらら博記念公園で開催された山口ゆめ花博は予想を大幅に超える 1,368,445 名の来場者があり、県知事はたびたびニュースでその成功を喜んでおられました。次の維新 200 年記念に向かって明治維新を支えた長州藩の歴史を地元の人々がひも解き伝える地道な活動が極めて大切なことのように思います。



## 週末は野良仕事 — 普段使いの野菜たち —

山口市 緒方 正彦

前は、ちょっとおしゃれな野菜を紹介いたしました。でも、せっかく作っても口にしなければただの草です。～(▽)～

今回は普段使いの野菜をご紹介します。

### ①ジャガイモ (ナス科)

#### 施肥

元肥を過剰に与えると芋が水っぽくなります。北海道のジャガイモがおいしいのは、寒くて肥料の吸収が悪いからだそうです。堆肥・腐葉土などを 1 株 2 握りの割合で肥料と芋が触れないよう交互に施します。

#### 植え付け

2 月頃より種芋が出回ります。4 月頃まで店頭に並びますが、ジャガイモは多雨を嫌うため、梅雨時前に育て上げた方が病気になりやすいです。遅くとも 3 月末までには植え付けをしましょう。うちの庭は隣家の影となり、地温がなかなか上がりません。そのため発芽が遅く梅雨を迎えています。植え付けの 2 週間前よりマルチで地温を上げておきます。また、種芋の植えつけも浅めにしておき、土寄せを早めに行っています。植え付け間隔は参考書の記述 (30cm 間隔) より少し間隔を空けて植え付けています。その方が生育旺盛となり結果、病気を招きにくいですし、収量もさほど変わりません。

食用の芋は病気を持っている可能性があるのでやめたほうが無難です。値段はそれほど変わりません。

#### 育成作業

芽が出てきて 10～15cm 程に成長したら、元気な 1～2 本を残して芽かきをします。あまり

成長して芽かきをすると苗を痛めてしまいますので、適時に行いましょう。芋ごと抜けてはいけなないので、反対の手で土を押さえて抜き取ります。苗は 1 本立てでもいいそうですが、リスクを考え 2 本立てにしています。芽かきの後に最初の追肥と土寄せをします。追肥は化成肥料で良いですが、蒔きすぎると芋が大きくなりすぎ大味となってしまいます。茎が 20～30cm になったら 2 回目の除草を兼ねて土寄せをします。しっかり土寄せして芋の生育スペースを作ってやります。また、芋が露出すると日差しに当たり青くなります。青色の成分はソラニンという色素で、腹痛などを起こすため注意が必要です。

#### 収穫

6～7 月頃、茎葉が倒れ始めたらそろそろ収穫時期です。試し掘りして時期を判断します。好天が 2～3 日続いたらチャンスです。雨降り後に収穫すると芋が腐りやすいです。小芋を取り残すと発芽して後作の邪魔をするので丹念に探しましょう。掘り出した後に半日ほど乾燥させて保存します。保存は冷暗所が好ましいのですが、我家の場合はなかなか良い場所がありませんので玄関で保存しています。(日陰) 芋から芽が出たら取り去ると半年は持ちます。

#### 害虫

テントウムシダマシ (ニジュヤホシテントウムシ)、アブラムシやジャガイモガなどがいます。ジャガイモはナス科 (ナス・トマト等) の野菜のなかでも最初に植え付ける作物です。ジャガイモが害虫にやられると、他のナス科植物に次々と広がっていきますから、最初が肝心です。

テントウムシダマシは、テントウムシと形は似ていますが羽根が茶色をしています。食欲旺盛で葉を食べつくし、あっという間に枯れ上がり、芋の成長が止まります。農薬はオルトラン・ダイアジノンが効きます。私は農薬を使いたくないので当初は捕殺していましたが、見る見る数が増えてきて追いつきません。最近は植え付けのときに寒冷紗をかけています。寒冷紗の周囲には必ず土を被せておきます。少しでも隙間があると目敏く侵入してきます。見つけたら捕殺するかピレトリン(除虫菊の成分で安全です)を散布しています。

アブラムシはキラキラテープ(銀色のテープ)で予防します。テープをケチると効果がありません。かつて痛い思いをしたため、頭に来て苗の周囲をテープでグルグル巻きにしたところ効果絶大でした。農薬はオルトラン・ダイアジノンなどがありますが、台所用洗剤を 1000 倍希釈した液をスプレーしても効果は十分です。

ジャガイモガの経験は有りませんが、露出した芋から入り込むようで、土寄せである程度、予防ができるようです。

芋にかさぶたのような斑点が認められたら<sup>そうか</sup>瘡癩病です。芋の実質がコルク化してしまいます。食べられない訳ではありませんが美味しくありません。酸性土壌で発症しにくいので、pH を 5.5 前後に調整します。未熟な堆肥を使用したり、前作の根や茎が残っていると起こりやすいです。

#### ジャガイモの育て方のポイント

1. 良い種芋を選びましょう
2. 連作を避けましょう
3. 肥料は控えめに施しましょう
4. 芽かきの時期を逸さないようにしましょう
5. 土寄せと追肥を忘れずに行いましょう
6. 多湿に弱いため早めに植え付け、できれば梅雨前には収穫しましょう

#### ◆電子レンジで作る簡単なポテトチップス

芋の皮はむかずにスライサーで薄切りにし水に晒します。ボウルに飽和濃度の塩水を作りしばらく漬けた後にキッチンペーパーで軽く拭き取ります。レンジの庫内にラップを敷いて芋を並べます。600 w で約 5 ~ 6 分加熱します。焦げないよう

に時々観察します。黄金色に焼き上がったらでき上がり。油を使わないのでヘルシーです。最近では通販で「チン!してチップス」というポテトチップスメーカーが販売されています。スライサーと指の防護具もついており、なかなか気が利いています。

URL : <http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/col/20070403/121456/>

#### ②サツマイモ(ヒルガオ科)

##### 施肥

1 年目は施肥をしないで植え付けます。前作の際の肥料が残っていますのでそれで十分です。多肥はつるばけを生じます。

##### 植え付け

苗は 5 ~ 6 月頃より出回ります。苗には芋づるとポット苗があります。芋づるは乾燥に弱いので降雨の後に定植するとうまくいきます。とは言っても都合良く降雨の後に植え付けられる訳ではないので、植える前につるを 1 日水に浸けておく和良好的です。植え付け後 1 週間ぐらひは水やりをしっかりとします。苗はしばらく元気が無いですが意外と乾燥に強く、9 割以上は生着します。ポット苗を植えてつるが伸びてきてから、つるを切って同様に定植しても良いです。ポット苗の方が芋つるより品種が多彩です。いろんな種類を少しずつ植えるのも楽しいものです。

##### 収穫

掘り出した後、1 日ほど日陰で乾かすと甘味が増します。保存はジャガイモが低温保存なのに対しサツマイモは室温が適しています。ただ、日に晒すと発芽してしまうので、芋をそれぞれ新聞紙で巻いて発泡スチロールの函にしまって保存すると数ヶ月おいしさが保てます。

##### 害虫

芋虫ぐらいです。芋虫は葉を食べますがサツマイモの場合、少々葉を食べられても収穫にはあまり影響は出ません。農薬なしでうまくなります。夏の間、つる返しをして除草を怠らないようにします。芋の生育が悪くなります。収穫は 10 月頃より出来ます。ジャガイモと違い収穫時期の判断が難しいです。ジャガイモの場合、葉が枯れ始

めたら収穫適期ですが、サツマイモは葉が枯れません。時々試し掘りして判断します。しかし遅くとも霜が降りる前には収穫した方が良いです。

#### サツマイモの育て方のポイント

1. 肥料は少なく施しましょう
2. 水はけを良くしましょう
3. 収穫時期の見極めが肝腎なので試し掘りしてみましょう

#### ◆電子レンジで作る簡単な焼き芋

サツマイモはゆっくり加熱すると甘味が増す性質があります。試しに芋をゆでる際に水から 60～70℃を超えないように温めてみて下さい。ほっくりした甘さが出てきます。

電子レンジで焼き芋を作る場合、加熱の前には下準備が必要です。芋を水で湿らせて塩を軽くまぶして新聞紙かキッチンペーパーでくるみ、更にラップでくるみます。新聞紙は手軽で良いのですがインクが芋についてしまい感心しません。加熱は、まず温めボタン（60℃付近に設定してある場合が多いです）で 1 分間加熱したのちに解凍を 10 分間行います。普通市販されている大きさのサイズでしたらこれくらいの時間です。サイズによって試行錯誤してみられると良いです。一度加熱すると甘味は消えませんが、作り置きしておくとも便利です。

#### ◆昔懐かし芋づるのきんぴら

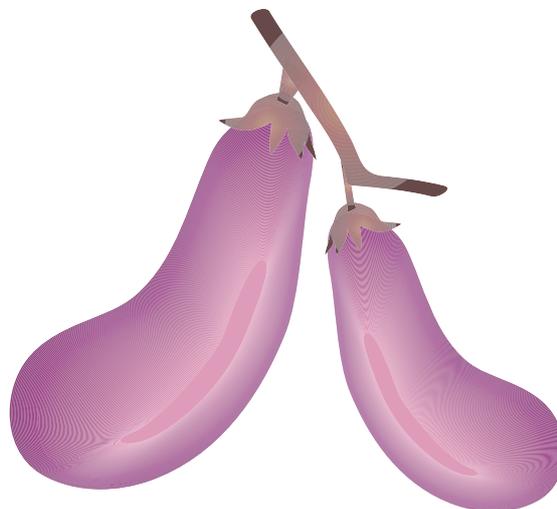
##### 材料

芋づる 1kg、ニンジン 1 本、ゴボウ 2 本、酒 10cc、醤油 10cc、砂糖 30g、ゴマ・ゴマ油・タカノツメ少量

##### 作り方

- (1) 芋づるを 3cm ほどに切ります。ニンジンとゴボウをそれぞれ 3cm ほどに細く刻んでおきます
- (2) ゴマ油を熱し、ごぼうを炒めます
- (3) ゴボウがしんなりしてきたら、芋づるを入れます
- (4) 芋づるに火が通ったら酒・醤油・砂糖を入れ、味がしみるまで炊きます
- (5) 味がしみたらニンジンを入れ、ニンジンに火が通ったら火を止めます。最後にゴマとタカノツメを散らします。ニンジンを煮込み過ぎると歯ごたえがなくなってしまうので、ここがポイントです

— 次回へ続く —



**明治維新 150 年・戊辰 150 年**  
**— 会津若松市、白河市、二本松市との確かな交流進展 —**  
 萩市 山本 貞壽

故 木下敬介 先生（元 山口県医師会長）、高谷雄三 先生（前 福島県医師会長）と私とが、本業の合間の多忙の中、長州（山口県）と会津若松地方（福島県）との未来への進展に執心していましたことは、周知となっていました。

私も本誌に、ここ3年間、「大切なのは将来と将来に対する責任」、「遂にわれわれ（医師会）は成した『会津長州盟友』、『善悪二元論』と『神意・天命』」と題して、両地についての拙稿を載せていただきました。

本会報の平成30年10月号に木下先生の追悼文が掲載されました。ここに、本会報平成28年8月号に掲載された「(医) 会津・長州盟友」の写真の再掲載を許していただき、150年という記念の年に成りましたことを纏め報告して私の追悼の記といたします。(写真1)

高谷先生は、昨年まで福島県医師会長を6年間で務めあげられ、これから家庭中心の生活を送られるはずでしたのに10月に奥様を亡くされ、深くお悔み申し上げます。

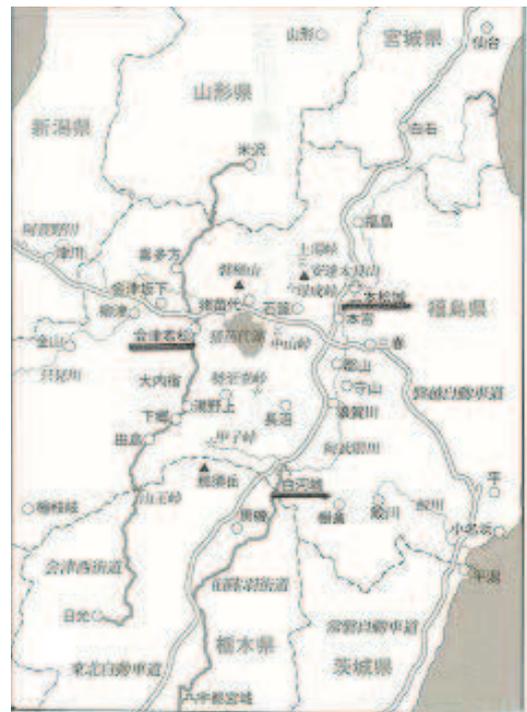


写真2 会津若松市、二本松市、白河市の位置関係と歴史関連地図  
 (早乙女 貢 著 会津士魂九巻 集英社文庫より 下線棒は著者)



写真1 前列左より木下先生、著者、高谷先生。平成28年、萩にて。全員の名前は本会報平成28年8月号 (No.1872号) 掲載。

記事を進めてゆくにあたりまして、極めて大切なのは、標題の明治維新150年・戊辰150年のことです。両地でのこの表記の違いを理解しておくことが、まず最も肝要で、私の名刺には両方を記しています。

以下、150年の記念を期に現時点でのまとめを木下先生のご霊前に報告しますが、そのためにはそれぞれの式典に出席しておかなければなりませんでした。(写真2)

期日と記念標語は以下です。

白河市 平成 30 年 7 月 14 日 (土)

甦る「仁」のこころ

会津若松市 同年 9 月 23 日 (日・秋分の日)

「義」の想いつなげ未来へ

山口県 同年 10 月 7 日 (日)

志を繋ぐ者たち～維れ、新たなり

萩市 同年 10 月 23 日 (月・明治改元の日)

※ 残念ながら時間の都合つかず臨めず

二本松市 同年 11 月 3 日 (土・文化の日)

信義 貫く想い、今～

※ 白河市と二本松市では、招待献花

### 現時点での交流のまとめ

白河市・二本松市での歴史的悲惨には触れません。市(市長)同志の未来への交流は然と成り、長州への「恨み」の声は聞きません。

会津若松市との市同志の交流問題は極めて難しく、「長恨」の声は大きい。私は 3 人の市長さん、市長経験者の方々と度々お話する機会がありましたし、これからも努力してまいります。この件についての市長さんとしての胸中は実に苦しいものがあるのです。会津人としての私人、そして市長の立場での両地の交流を述べられるのは至難の技であるのが、私にはよく理解できます。

極めて画期的で嬉しいことが昨年できました。東京のラピュータ社の企画による出版の中で、戊辰 120 年(明治維新 120 年)の前後に会津若松市長を務められた早川廣中氏が、その胸中・心情を記してくださったのです。僭越ながら私との共著です(『戊辰明治 150 年 会津人と長州人 かく語りき』)(写真 3・右)。

なお、写真 3・左は、戊辰 150 年記念誌刊行委員会が昨年、会津若松市で発刊されたものです。『薫蕓を選びて』と題し、旧幕府側・新政府側、東軍側・西軍側の双方から 27 編の意見が収録されていて、画期的なものですが、

私をその中に選んでくださった編者の岩澤信千代様、ありがとうございます。

会津若松市と萩市との市(市長)同志の目前の和解・交流はありません。しかし、本稿の始めに記しましたように、一部は本誌でも報告しましたが、民間では着実に進展しています。

この記事を書いています 10 日後(11 月 22 日)には双方の JA による「相互交流協定」締結が成り、調印式が会津若松市で行われることが報道されました。大型の交流が前進するわけで喜んでおります。

私自身は、高校まで萩市で育ち、帰郷して 32 年、「明治維新胎動の地」萩に、明治維新 150 年の時に居れる幸せと責任を誇りとして、「大和心を護った明治維新、志」を標して、木下先生、高谷先生の同志と歩んでいます。



写真 3 戊辰明治 150 年記念として (右) 東京、(左) 会津若松市で 2018 年発刊

## アフリカ(倭)の女王

下関市 塩見 祐一

この堂々たる題名は、第 2 次世界大戦時に船主のハンフリー・ボガートがふとしたことで宣教師キャサリン・ヘプバーンを乗せたボンコツ貨物船の名前「アフリカの女王号」である。それでもってドイツ軍艦を撃沈せんとする冒険談が進んでいき、その間ご兩人に恋が芽生えメデタシ・メデタシのハッピーエンドとなる、古き包容力ある時代のアメリカ映画だった。

さて、最近ほとんど女性天皇の出現はおろか、話題にさえならないけれど、大昔には推古天皇や持統天皇は言うに及ばず、天智並びに天武天皇をお生みになられた天豊財重日足姫あめとよたからいかしひたらしひめは皇極並びに齊明と二度も天皇になられている。よって、今回は「副題」の如く古代日本の女王 or 王について考えてみた。

### (1) 『魏(偽)志倭人伝』

歴史小説として有名な『三国志演義』と違って、『三国志』は『史記』の真価に及ばないながらも中国正史である。著者は蜀に仕えた後に魏の後継たる西晋の歴史家、陳寿。その描かれた世界の末席に控えし『東夷伝』中の『魏志倭人伝』に古来日本人は悩まされている。しかも、上から目線でわが国には失礼なわずか 2,000 字の文章に。

出てくる名詞で具体例を挙げる。大体、①東夷の「夷」とは東方の未開の異民族、②倭人の「倭」はナヨヤカに従う様、③邪馬台国の「邪」はよこしまという意味であり、④その女王「卑弥呼」は卑しい巫女、⑤倭人伝中 7 回も出てきてキーマンとして存在感を示す倭の外務大臣「難升米」は発音を度外視すれば「名ヲ称スルコト難」の「名無しの権兵衛」さん、⑥その付き人たる「牛利」は牛狸で動物同等、⑦倭の大乱後に担ぎ出された「壹

与」はナンバーワンを与えると解せられるのである。

しかし、難升米もしたたかで、邪馬台国を守るため、その所在を決してはっきりと示さない。じゃないと、敵対隣国クナ国を念頭にした防衛援助協力どころか、魏に攻め滅ばされかねない。だから、読んでも当該地名が思い当たる対馬国・一支(壱岐)国・末盧(松浦)国・伊都(怡土)国・奴(那)国・不弥(宇美)国までは分り易い。それからの水行 10 日・陸行 1 月の邪馬台国が問題で、該当する地は難升米の思惑通りに今日に至るまで百家争鳴となる。ここの各地にそれぞれ「国」と付いていても英国や中国の「国」ではなく古代ギリシアの都市国家に似ており、邪馬台国と言ってもアテネ様ポリス相当であろう。従来からの論点「邪馬台国の台の字」について、僕は少数・古田武彦説の邪馬「壹(イ)」国の方が多数説「ダイ」より説得力があると思う。そうであればこそ、時代劇、たとえば「鬼平犯科帳」でよく聞く「美味しい(ウマイ)」が鬼平の「ウメエ」と岡っ引きの「ウメ」と発音されるように、当該地は「ヤマイ」→「ヤメエ」→「ヤメ(八女)」へと行きつく。

英語だってソウ、沖縄にいる時「Thank you」や「Water」だって「テンキ」や「ワラ」にしか聞こえなかったもの。

### (2) 『(奇)記紀』

天武天皇が作れと命じたわが国初の歴史書のうち、海外版が漢文で書かれた舎人親王編『日本書紀』で、国内版が国語を主とした『古事記』である。両者とも、その編纂趣旨は国内外に大和朝廷の正統性を認めさせることであった。内容、特に巻として『日本書紀』にあって『古事記』にはな

い神功皇后の項で突如として「三九年・四十年・四十三年に魏志倭人伝の引用として倭の女王と魏との貢物外交」が書かれ、あたかも卑弥呼＝神功皇后と思わせているのは不自然かつ後代の筆による恣意的操作である。よって、おそらく前者（持統天皇まで）は後者（推古天皇まで）を下地にして書かれたのであろう。

そうなると、『記紀』の原本者は二十八歳の舎人・稗田阿礼になる。「稗田」は下関の会員にとってなじみのある地名だ。先日も下関地区を担当になった MR さんが当院に来た時に「医師会館がある山の田を中心に垢田・稗田・熊野とか田舎っぽい町名が続いていますね」と言われた。「そうよね、だけど、僕が高校の校内マラソン大会でコノ前の通り（山の田周辺）を走った頃なんて名前だけじゃなくド〇〇だったけど」と教えてあげた。閑話休題。その「名にし負はば？」の町名と同じ「稗田」氏はアメノウズメを始祖とする猿女君（巫女として朝廷に仕える一族）の家系である。そして、「アレ」は当て字と思われ、古語辞典を見ると吾・我や彼を除けば①生まれ＝氏素性、②阿礼＝神霊の象徴として用いた榊の大きな枝、③村の意とある。もっとも④単独の「阿」は親しみをこめる意味の接頭語で「稗田の礼ちゃん」ともとれる。いずれにしても、暗記力抜群な彼（or 彼女）が『帝紀』並びに『旧辞』を誦習・暗誦したのを実在した太安万侶が筆記したのだ。

### (3) 『大和維（異）新』

以上より新ヤマト朝廷の成立を僕は次のように考えた。

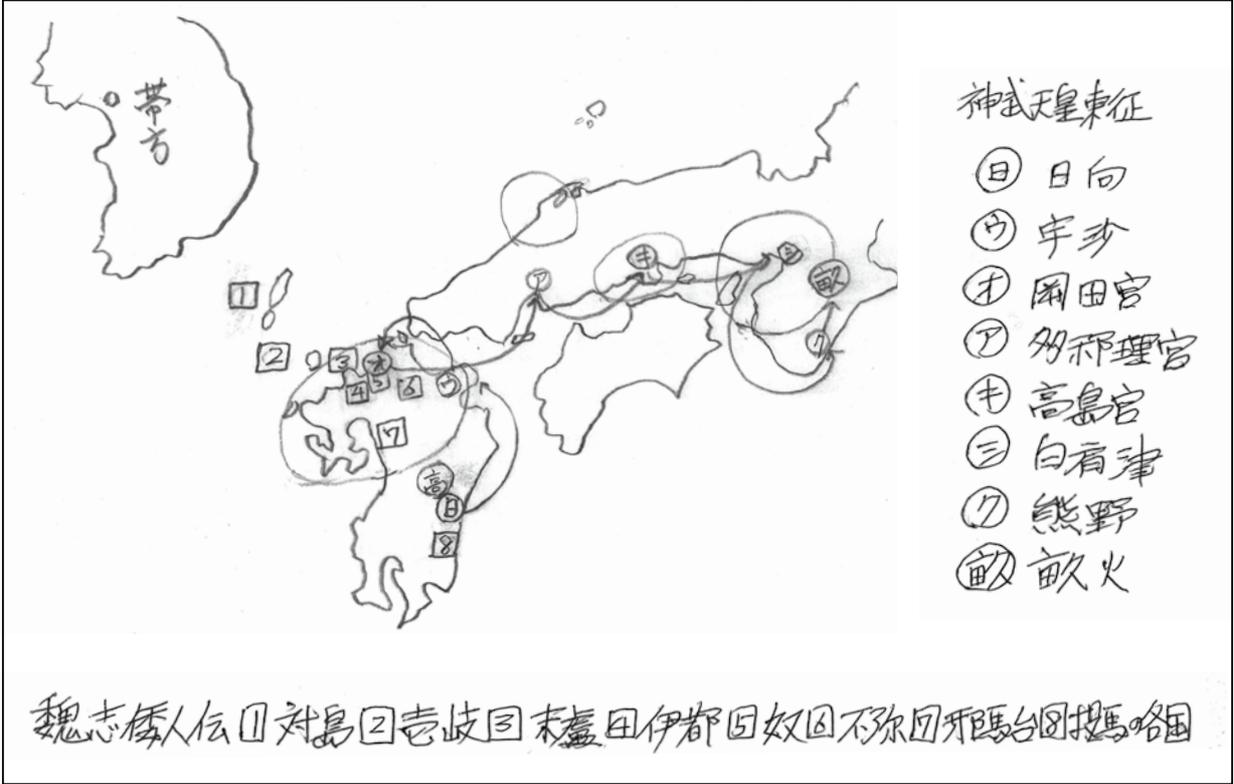
古代倭国には大きく北部九州・近畿・出雲・吉備の四大文化圏があった。そのうちのツクシ・邪馬台国連合が今のアメリカみたいに国内分断している間に、旧ヤマトは着々と大物の出雲（古事記・神代の国譲り）を始めとして取り込んだ。ちょうど、経済力をバックにした今の中国のように。

ここで先の邪馬台国に至る行程で説明が残った投馬について。辿り着くまで水行 20 日なら、帯方郡から海岸伝いに水と食料の補給をしながら、待てば海路の日和のもとに松浦半島経由で南へ、南へと下っていった地に違いない。だから僕は高

千穂（天孫降臨の地）から下った日向、そこより更に南への西都原（古墳群）・妻に当てたい。その地の昔話が語り継がれたからこそ古事記の「上つ巻」の神話につながったのだ。そう言えば、我が家の長女が前期研修先中の 1 年間は宮崎・延岡だった。そこは下関から電車に乗っても、熊本から車で走っても、行けども行けどもなかなか着かないほどの遠さである。彼女にとって良かったと思われたのは救急医療と車の運転が上手くなったこと。それに最後のひとはソノマタ地域医療として派遣された神話の里・高千穂で、赴任当日に重症患者さんを熊本済生会病院へ運ぶヘリコプターに乗り込めたことも。

平成最後の年、いやいやココ何年間か続けて日本中の至るところで自然災害の恐ろしさを見せつけられている。それと同じような天変地異が弥生のコノ空白時期に起こったならどうだろう。去年や今年みたいにあれほどの豪雨、否、もっと酷い「ノアの方舟」のような大洪水が北部九州を襲ったとしたら、三角縁神獣鏡はおろか卑弥呼の墓でさえアッケナク流され消え去ったにちがいない。実際に、年が下って疫病の大流行や干ばつのための雨乞いの記録もあるし。そのような事態を伝え聞き、唯一残った投馬国のドンは盟主・邪馬台国に見切りをつけ、きっと実り多き国を求めて大和を目指したろう。確かに当地での銅器の出土はないものの鉄器はあったから武器や農具を持ち、エクソダスを考えた。それが神倭伊波礼毘古命（かむやまといわれびこのみこと）をリーダーとする神武東征（やはり、九州を出てからは戦いの旅になったろうから東遷ではない）である。すなわち、日向→ウサ（宇佐宮）→オカダ（筑紫・岡田宮）→アキ（多祁理宮）→キビ（高島宮）→シラカタ（白肩津）→クマヌ（熊野）→ヨシヌ（吉野）→ウダ（宇陀）→シキ（磯城）→畝火へと到達したのだ。明治維新時に地方の薩長土肥が上って行った如く。

だけど、邪馬台国の隣国・クナは後のヤマト朝廷の代まで時の政権に服そうとしなかったか。第十二代景行天皇の皇子・小碓命（おうすのみこと）（後の倭建命）の熊曾（熊本県）征伐や筑紫の可志比宮（福岡市香椎）から熊曾を討とうとした第十四代の仲哀天皇（その際、神託に反し神の怒りに触れ突如崩御された）



の記述からして熊曾は後々まで力を保持していたのだ。第二十六代継体天皇の御代に起きた碧井の乱（527 年）よりはるか前のことである。

バ（佐波）や没利（六連島）そして引島（彦島）と僕の生まれ故郷まで出てきて、お堅い『日本書紀』にも親しみがわいてくるのでした。

ついでに日本書紀・仲哀天皇の巻には宮を置いた穴門あなとのとよら豊浦だけでなく、山口県の地名が周芳すわのサ



## 端（はしっこ、さきっぽ） その 14

徳山 若林 信生

山口県からはなかなか行き難い東北と、四国では東西南北の最尖端のうち最も行き難い最東端や、山口県の端を少し紹介しましょう。

福島県いわき市平薄磯<sup>たいらうすいそ</sup>の太平洋に突き出た岬<sup>しおやざき</sup>が塩屋崎である。ここが有名になったきっかけは、今は亡き国民的歌手の美空ひばりの大ヒット曲「みだれ髪」で“♪し～おやのみさき～”と唄われた事による。高台には明治時代に建てられた立派な灯台があり、その下の雲雀乃苑<sup>ひばりのその</sup>周辺には美空ひばりの「みだれ髪」の歌碑、遺影碑および少し離れた所には銅像まで建っている。歌碑の前に立つとみだれ髪の唄がながれてくる。とにかくここは美空ひばりである。名画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台にもなった所であるが、こちらの碑はあまり目立たなく地味に建っているように見える。



雲雀乃苑と塩屋崎灯台

塩屋崎灯台は小山の上に建っている。よく整備された坂や階段を登って行けば 10 分以内に灯台に到達する。灯台は白亜、円塔形、コンクリート製、高さ 27m、初点灯は明治 32 年である。

灯台は上まで登れる参観灯台で、“日本の灯台 50 選”にも選ばれている灯台らしい立派な灯台である。先の東日本大震災で被害を受けたが、復興のシンボルとして早くに修復されたい。周辺の海岸では堤防のかさ上げ工事が盛んに行われていた。

ここに行くには JR いわき駅か常磐自動車道または東北自動車道を経由していわき市に行けばよい。市内からは東の方向の太平洋を目指して進めばよい。有名な場所なので案内表示はあちこちにある。

市内には全国的に有名な“スパリゾートハワイアンズ”がある。映画「フラガール」で全国的に知られるようになった所である。レジャー施設で冬でもプールなどで楽しめるし、フラダンスやタヒチアンダンスも一年中楽しめる。また、すぐ傍にはゴルフ場もある。宿泊施設も 3 か所あり、温泉もある。温泉は炭坑が華やかなりし頃、坑道から湧き出る“湯”に悩まされたらしいが、それが今では自家温泉になっている。広い、ゆったりとした施設で話のタネに一度は行ってみると良い。

四国の最東端は蒲生田岬<sup>かもだみさき</sup>である。地元では“かもだみさき”

と言うが他所では“がもうだみさき”と言われることが多い。実際、インターネットで調べても“かもだみさき”では出てこない。しかし“がもうだみさき”ではすぐに出てくる。

徳島県の阿南市の南部にある岬で、四国最東端なのに何故かあまり目立たない岬である。四国には有名な岬が他に 3 か所(足摺岬、室戸岬、佐田岬)あるためであろうか。

国道 55 号線から県道 26 号線～県道 200 号線を東に向かって行くのであるが、県道に入った途端に道は狭くなり、中央線の無いところがほとんどで対向車が心配であるが、幸いな事に交通量は少ない。国道から突端の駐車場まで 15km 余の狭いクネクネ道を走らなければならないので人気は今一つなのであろうか。近辺に駅やバス停は無い。

駐車場にはトイレもある。駐車場から蒲生田岬灯台へ向かう所に石造りのモニュメント「波の詩」があり、“恋する灯台”として登録されているそうである。石畳様の遊歩道を歩けば小山様の突端に灯台が見えてくる。コンクリート製の急な階段が手すりもなく直線的に約 150 段続いている。これが結構しんどく、脚に来るし、少し危険と思われる。

蒲生田岬灯台は白く、円塔形、コンクリート製でタイル張り、途中まで外側に階段がある。上部には私が本会報「端 その 13」で述べた秋穂の草山崎灯台のように出窓がある。高さは 11.5m、初点灯は大正 13 年である。この灯台と和歌山県の紀伊日御碕灯台を結んだ線より北が瀬戸内海で南が太平洋であり、重要な灯台である。

ここからの景色は抜群で、紀伊半島や淡路島が見えるそうであるが、私が行ったときは霞んで遠くは見えなかった。

下関市豊北町にある特牛港こつないの北側に、西方の角島に向かう小高い突端にあるのが、明治時代に建てられた特牛灯台である。

山口県には現在、4 か所の明治時代に建てられた灯台が今も光を放っているが、そのうちの一つである。古い順から言うと、六連島灯台むつれじま、角島灯台つのしま、特牛灯台ふたおいしまそして蓋井島灯台である。特牛湾の出入り口付近は浅瀬や暗礁が多く、また、本土と眼前の角島の間瀬戸も同様に浅瀬や暗礁が多い海峡でもあるが、この灯台が明治時代から必要であったのであろうか。

国道 191 号線を下関市方面から長門市側へ向かって行くと、角島の少し手前に豊北町特牛がある。この特牛湾の北側を湾に沿って進めば突き当りに小さなコンクリート製の階段がある。これを上って行けば、直ぐにジグザグのダートの登り坂になり、5 分あまりで灯台のある小さな広場に着く。昔の職員官舎の跡であろうか、コンクリートの基礎の跡があり、その先に白いコンクリート製、八角形で塔型の高さ 6.3 m、初点灯が明治 45 年の灯台がある。灯台にはすぐ前の岩礁を照らす照射灯が付いている。灯台の高さは低いがいかにも古く歴史を感じさせる雰囲気を持って鎮座している。ここからの景色はすこぶる良く、眼前は角島で、近くには有名な角島大橋がある。

下関市吉母の本州最西端の毘沙ノ鼻びしゃのはなの沖の響灘に蓋井島がある。吉見港から市営の連絡船が一日に 2～3 回出ている。航行時間は約 40 分であるが、風や波の具合によって欠航になったり、時間



特牛灯台

がかかったりする。蓋井島は小さな島で、港の周辺に人が住んでいるのみで、人口は約 90 人であり、小学校があるのみである。小学校も児童数は 5 人とのことであった。約 3 時間の滞在で児童の 4 人に会った。みんな純朴で礼儀正しく、とてもすがすがしく、大変気持ち良かった記憶がある。

船が入港する前に左手の鐘崎<sup>かねざき</sup>の高台に蓋井島灯台が見える。下船後に左手の灯台に向かって山を登ればよい。木のトンネルの坂道をほぼ直線的に約 20 分登っていけば、しっかりした塀に守られた白い、コンクリート製、塔形、八角形、高さ 15 m の立派な灯台が現れる。港の方から見ると白く見えるが、近寄ってみると、すすけて灰色がかった。この灯台は前述した特牛灯台と同じで明治 45 年に建てられたものであるが、最後の階段を上ると門柱には鉄柵や鍵が掛けられ、また、周囲も鉄柵に守られて近づく事が出来ず、せっかくの古い灯台をごく近くで観察できないのは非常に残念である。

朝鮮半島との間に船の行き来が激しくなり、関釜連絡船も就航するようになると、角島～蓋井島～六連島～関門海峡と航路の為に灯台が必要とされたのであろう。

山口県南東部の周防灘に突き出した半島が室津<sup>むろつ</sup>半島である。半島の東側は柳井市、西側は平生町そして先端が上関町であり、原発の問題で有名になった所である。上関町の南端に室津港がある。昔から「風待ちの港」として知られたところである。ここ上関ばかりではなく、中関、下関も同様である。狭い上関海峡をはさんで長島があり、ちょうど風よけとして良かったのであろう。

この長島の南西部に原発建設の予定地があり、その先に海を隔てて祝島がある。室津と長島の間の狭い上関海峡に架かる橋が上関大橋で、立派なアーチ型の橋である。この橋の下にちょうど雨宿りをするような格好で建っているのが室津灯台である。このような構図は日本でも特に珍しく他所で見たことはない。灯台は白く、円塔形、コンクリート製、高さ 13 m である。灯台としてはいかにも灯台らしく立派ではあるが、橋のおかげで何か目立たなくなっている可哀想な灯台である。

直ぐ近くには“道の駅 上関海峡”があり、また、上関海峡温泉「鳩子の湯」もある。温泉はゆったりとして湯船から見る眼前の海峡の景色も素晴らしく、また、露天風呂は濁り湯であり、私の好きな温泉のひとつである。



上関大橋の下に建つ室津灯台